

SDGsへの取り組み

2030年までの世界のマスタープランともいえる持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)。ICTはその特性から17の目標すべてにポジティブな影響を与える可能性を有します。富士通グループは、独自のICTの力を活かして、より事業への結びつきが強い目標を中心にSDGsの達成に向けた取り組みを進めています。

詳細についてはこちらをご参照下さい。
<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>



SDGsの達成に向けて

「IT企業からDX企業へ」。富士通がDX企業として目指すべきビジネスは、社会課題の解決にあります。お客様のニーズに加え、その先に広がる社会課題を解決していくこと、それが富士通の使命であり、富士通の未来ビジョンである「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」の実現につながると考えています。

そして、SDGsは、国連が主導して世界の社会課題を17に分類したものと捉えることができます。

富士通は、国際機関や各国政府、民間企業、NGOといった様々な組織との幅広い協働と共創を通じて、社会課題解決を目指し、SDGsの達成に貢献していきます。

SDGs達成に向けた富士通の主な取り組み

SDG2		持続可能な食と農業
SDG3		高齢化社会における健康、福祉、難病の撲滅
SDG8		イノベーションの促進 ヒューマンセントリックな働き方
SDG9		エコシステムによるインテリジェントな産業化
SDG11		都市モビリティの高度化 安心安全な都市の実現
SDG13		CO ₂ ゼロエミッションの実現 脱炭素社会への貢献

SDGs浸透に向けた活動

DXビジネスへの挑戦に向けて、お客様の幹部クラスを対象とした講演やディスカッション、共創ビジネス創出のためのワークショップなどの開催のほか、富士通グループ各社の経営層・各部門へのSDGsの理解浸透に向けたSDGsに関するセミナーや研修会の開催を強化しています。

社内向けの取り組み

社会課題ビジネスを推進していく中で、社員1人ひとりが業務でSDGsを意識し、提案活動を展開していけるように、SDGsと自らの取り扱うサービスとのつながりを理解する取り組みをはじめました。具体的にはワークショップを通じて、ロジックモデルを用い、事業活動を経済的・環境的・社会的な影響に置き換え、SDGs達成に求められる要素から、サービスの訴求ポイントを論理的に整理する取り組みを進めています。

社外向けの取り組み

富士通グループは、よりグローバル規模でのSDGsへの貢献や社会課題解決を目指して、国連機関をはじめとする様々な機関とのコラボレーションを進めています。

また、世界経済フォーラムや持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)等国際会議への参画を通じ、世界が直面する重大な課題について、各国トップリーダーと国境を超えた議論を行っています。



WBCSDリスボン年次総会の様子
当社社長の田中が同団体の副会長に就任

コミュニティ活動

富士通グループでは、様々なコミュニティと協働し、地域社会の発展につながる社会貢献を推進しています。また、事業活動との相乗効果を重視し、豊かで夢のある未来を世界中の人々に提供するとともに、社会への貢献を通じて、社員自らのスキル開発や富士通グループで働くことへの誇りを向上させていきます。

コミュニティ活動の方針

富士通グループは、従来より行っていた社会貢献活動を、グローバル共通のコミュニティ活動と位置付け、企業市民としての役割を果たしていきます。

コミュニティ活動の推進にあたっては、「人を大切にする社会貢献活動」「科学技術の発展に資する社会貢献」を優先事項として、多種多様なステークホルダーと連携し、グループ全社員が積極的に参加して活動を展開しています。

コミュニティ活動の取り組み事例

人を大切にする社会貢献活動

年齢、性別、障がいの有無、人種、民族、出自、宗教、経済的地位等に関わる不平等をなくし、人を大切にする活動を推進します。また、私たちが安心して生活を送れるよう環境貢献や災害支援なども積極的に行います。

感覚過敏の子供たちのサッカー観戦

「心のバリアフリー」活動の一環として、大音量の歓声などに対する感覚過敏の症状を抱える子供たちが家族とともに、Jリーグのサッカーを観戦するイベントを多くの関係者と共に開催しました。



(写真提供: Jリーグ)

すべての子供に教育の機会を

教育の不平等の解消を目指し、インドやフィリピンにおいて、現地の非営利団体とのパートナーシップを通じ、教師派遣やICT設備機器の寄付など、貧しい地域の子供たちへの教育支援を行っています。



CO₂削減クレジットを東京都へ寄付

東京都が目指す「ゼロエミッション東京」の趣旨に賛同し、東京都キャップ&トレード制度に基づき、同制度開始以来獲得したCO₂削減クレジットすべてを寄付しました。

科学技術の発展に資する社会貢献活動

プロボノ活動に代表されるICTやビジネススキルを活用するボランティアの推進やSTEM(科学・技術・工学・数学)教育に貢献する活動など科学技術の発展に資する活動を推進します。

ロシアでの学生コンテスト支援

富士通はカザン航空研究所の学生が主催するビジネスアイデアコンテストへの支援を行いました。学生へのICTに関わる様々な特別授業の開講を通じ、生徒のスキル向上に貢献しました。



英国でのがん患者支援団体とのプロボノ共創

がん患者支援団体とのパートナーシップによるプロボノプロジェクトにおいて、富士通はボランティアスタッフの時間管理を行うプラットフォームを提供し、飛躍的な業務の効率化につなげました。

詳細はそれぞれ以下URLをご参照ください。

人を大切にする社会貢献活動:
<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/community/people/>

科学技術の発展に資する社会貢献活動:
<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/community/ict/>